感染症発生動向調査

Infectious Diseases Weekly Report

●全数報告の感染症(1~5類感染症)

(今週の報告数/累積。累積は2024年第1週から)

(ラ週の報日数/	糸惧。糸惧は2024年9	
疾患名	報告数	累積
【1類】		
(報告なし)		
【2類】		
結核	201	11268
【3類】		
コレラ		2
細菌性赤痢	1	61
腸管出血性大腸菌感染症	116	2753
腸チフス		32
パラチフス		5
【4類】		
E型肝炎	7	399
A型肝炎	2	114
エキノコックス症	1	10
エムポックス1)		16
オウム病		3
回帰熱		10
Q熱		6
コクシジオイデス症		2
ジカウイルス感染症	1	3
重症熱性血小板減少症候群	1	97
ダニ媒介脳炎		2
チクングニア熱		3
つつが虫病		111
デング熱	8	187
日本紅斑熱	18	324
日本脳炎		4
ブルセラ症		4
ボツリヌス症		4
マラリア	2	40
ライム病		23
類鼻疽		2
レジオネラ症	36	1703
レプトスピラ症	6	28
【5類】		
アメーバ赤痢	4	395
ウイルス性肝炎2)	4	166
カルバペネム耐性腸内細菌目組	H菌感染症 ³⁾ 35	1597
急性弛緩性麻痺4)		34
急性脳炎5)	10	404
クリプトスポリジウム症		21
クロイツフェルト・ヤコブ	病 2	119
劇症型溶血性レンサ球菌感	染症 15	1532
後天性免疫不全症候群	16	738
ジアルジア症		31
侵襲性インフルエンザ菌感	染症 3	474
侵襲性髄膜炎菌感染症	2	43
侵襲性肺炎球菌感染症	25	1816
水痘(入院例に限る)	4	355
梅毒	195	10766
播種性クリプトコックス症	3	151
破傷風		62
バンコマイシン耐性腸球菌	感染症	92
百日咳	93	1825
風しん		5
麻しん		29
薬剤耐性アシネトバクター	感染症	5
1) 2023年5月26日上り井川痘から		2) 日刊旺火

1) 2023年5月26日よりサル痘から感染症法上の名称が変更。2) E型肝炎 および A 型肝炎を除く。3) 2023年5月26日よりカルバペネム耐性腸内細 菌科細菌感染症から感染症法上の名称が変更。4) 急性灰白髄炎を除く。5) ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、グニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本 脳炎、ベネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

2024年第39週 (9月23~29日)

(国立感染症研究所感染症疫学センター)

●定点把握の5類感染症

(「定点当たり」は報告数/定点医療機関数)

疾患名	報告数	定点当たり
インフルエンザ ⁶⁾	3124	0.63
新型コロナウイルス感染症	17674	3.58
RSウイルス感染症	1153	0.37
咽頭結膜熱	717	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5141	1.64
感染性胃腸炎	7391	2.35
水痘	401	0.13
手足口病	25493	8.12
伝染性紅斑	583	0.19
突発性発しん	771	0.25
ヘルパンギーナ	1218	0.39
流行性耳下腺炎	133	0.04
急性出血性結膜炎	5	0.01
流行性角結膜炎	287	0.41
細菌性髄膜炎7)	10	0.02
無菌性髄膜炎	24	0.05
マイコプラズマ肺炎	788	1.64
クラミジア肺炎 ⁸⁾	1	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス) 9)	2	0.00
インフルエンザ (入院患者)	84	
新型コロナウイルス感染症 (入院患者)	1330	—
6) 自ノンフルエンボセトが新刑ノンフルエンボ空蔵沈庁も除ノ 7) 麻暗。		

6) 鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。7) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。8) オウム病を除く。9) 病原体がロタウイルスであるものに限る。

●定点把握の対象となる5類感染症

(前週からの定点当たりの増減と多い地域)

疾患名	増減	地域
インフルエンザ	1	沖縄、宮崎、千葉
新型コロナウイルス 感染症	+	宮城、岩手、茨城
RSウイルス感染症	+	山形、新潟、鹿児島
咽頭結膜熱	+	新潟、鹿児島、沖縄
A群溶血性レンサ球 菌咽頭炎	+	福岡、鳥取、茨城
感染性胃腸炎	+	大分、福井、石川
手足口病		愛媛、富山、宮城
伝染性紅斑		青森、神奈川、東京
ヘルパンギーナ	+	宮崎、山形、佐賀
流行性耳下腺炎		長崎、福島、埼玉、静岡
マイコプラズマ肺炎		福井、埼玉、岐阜

◆マールブルグ病:ルワンダ共和国

10月2日現在、ルワンダ共和国で36名のマールブルグ病の確定症例が確認された(うち11名は死亡例)。アフリカでのマールブルグ病は散発的で、これまでにウガンダ共和国、ケニア共和国、アンゴラ共和国等で発生しているが、ルワンダ共和国では今回初めて確認された。

※次回の「感染症発生動向調査」は、No.5245(11月2日号)に 掲載の予定です。